



## ♥ はじめに

6月に新座市内6圏域で「協議体(生活支援体制整備事業)についての勉強会」が開催されました。今回はその様子をお伝えします。

## ♥ 第1回勉強会の報告 ※開催日順に掲載します。

第1回勉強会では、市内6圏域共通した内容で実施しました。

「生活支援体制整備事業」と「協議体」についての説明と映像の上映後、地域のささえあいを考える協議体について話し合いました。

下記に各圏域で出た意見等をまとめました。

6月5日(火) 10:00~12:00

北部第一地区(東北、東、野火止5~8丁目)

東ふれあいの家



- ・地域やご近所で仲間や集いの場を増やしてつながりをつくりたい。
- ・地域福祉推進協議会の地域課題情報を活用すべき
- ・地域のささえあいは高齢者だけでなく、障がい者・子育て世代・子どもも含めるべき
- ・外出しない人、できない人が参加しやすい場が必要
- ・各団体のリーダーを集め、中心メンバーで情報交換をしてはどうか。
- ・活動は縦横の関係にそれぞれ意味があり、横のつながりが肝心
- ・協議体は具体的なケースを話し合える場であってほしい。
- ・ご近所つきあいの延長のささえあいだけでは難しく、介護予防が重要になる。
- ・まずは自分が動くこと
- ・活動の支え手が高齢化し、新たな担い手が不足している。
- ・60代で健康だが、外へ出ない人もいる。外へ出すにはどうしたらいいのか。
- ・「広い場所で体操したい」「子育て支援センターでは、子育て経験豊富な高齢者の方々と交流の場が欲しい」この2つのニーズは結びつけて活動できるのではないだろうか。

6月10日(日) 10:00~12:00

東部第二地区(畑中、馬場、栄、新塚)

畑中公民館



- 協議体は問題を共有し、解決へ向けた話し合いの場であるべき
- これからたくさん話し合いを重ねていけばよい。
- 今活動しているものが続行できるようにしたら良い。
- 理想を持って、その理想どおりにはなかなかいかない。
- 高齢者世代の方が多く参加しているが、子育て世代の参加を促すと、世代間の交流ができると思う。
- 支える人、支えられている人がいるが、支えられる人の気持ちを変えていく必要がある。
- 今回参加者の所属が少なかったのもっと広げたほうが良い(町内会、事業所など)。
- 急がずに、市民が本当に望んでいる住みやすい町づくりのあり方をつくっていかると良い。
- 情報の活用・共有をどうしていくかが課題である。

6月12日(火) 10:00~12:00

東部第一地区(池田、道場、片山、野寺)

中央公民館



- 既存の組織をもっと活用していくべき。
- 近隣との関係が希薄になっている、少子高齢化が進んでいること、介護保険では解決できないこともある等、さまざまな地域課題がある。
- 参加者が参加してよかったと言えるような会にしていけたら良いと思う。
- ご近所同士での助け合いがあることが理想
- フォーマルとインフォーマルな支援を連携させることが大切
- 地域支援は義務的になると継続が難しい。
- 地域でどのような支援の仕組みをつくっていくか考える必要がある。

6月13日(水) 10:00~12:00

西部地区

(あたご、菅沢、本多、野火止1~4丁目、西堀、新堀)

市役所第二庁舎 会議室2



- ・協議体に多様な人材が集まるように、広報活動にも工夫が必要
- ・世代を超えて関わっていきけるような体制づくりをしていくことが大切
- ・すでにある活動やシルバー人材センター、高齢者相談センター、薬局などの地域資源を本人や本人を支える家族ともに利用してほしい。
- ・協議体を他の地域や市町村の取組を学ぶ場としてみるのはどうだろう。
- ・すぐに解決できる問題ばかりではない。ゴミ出しや交通の便、買い物問題などさまざまな問題・解決が地域にはある。
- ・今の時代、地域の助け合い・ささえあいは確かに大切
- ・「助けて」と言えない人のフォローの方法を考える必要がある。

6月13日(水) 15:00~17:00

南部地区(石神、栗原、堀ノ内)

南部高齢者相談センター (亀寿苑)



- ・実際の問題を解決していくにあたり、「どのような地域にしていきたいのか」というイメージを持つことが大切
- ・地域の方々と協力していけたらいいと思う。
- ・専門職や地域の事業所、行政が持っている情報を集めて分析しデータとして1つにまとめることができたらいいと思う。より多くのことが検討でき、検討したものをより良い形にして地域へフィードバックしていくことができる。
- ・今できることをやっていくしかない。けれどどうやってやるのか。
- ・多世代が参加できることが理想 ・HP や広報などでもしっかり周知していくべき
- ・若い人たちにどのようにして担い手になってもらえるのか。
- ・今活動できている人たちは既に多くのこと担っている。若い人といっても、仕事をしないと生活できない人もいる。若い人をどう巻き込んでいけるのか。
- ・今までは家族が担ってきた役割を、今後は地域で担っていかなければならない。
- ・縦割りだけではなく、横でもしっかり連携していかななくてはならない。
- ・地域の話をするとながティブな意見が多くなるが、ポジティブに考えていく必要がある。



6月14日(木) 14:00~16:00

北部第二地区(中野、大和田、新座、北野)

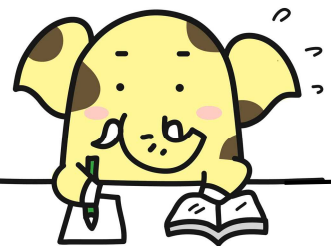
大和田公民館



- ・地域に埋もれた人材を発掘して、公的なサービスでできないことを地域でできないのか。
- ・押し付けても上手くはいかない。
- ・地域のつながりが薄いので、地域のつながりづくりをして共感できる共通の話題を持つことが大切
- ・地域が協議体をどう受け止めるか。地域住民の意思を尊重したい。
- ・年代を超え、いつでもみんなで関われる場所をつくりたい。
- ・高齢者メインではなく、子育て世代など幅を広げていきたい。
- ・不安はあるが動いていかないと形にならない。
- ・話題を広く拾い上げるためには多様なメンバーに集まって欲しい。困難なことでも複数人で解決に導くことができる。

## ♥ 今後の予定

今後も第2回、第3回と市内6圏域で勉強会を進めていきます。第2回勉強会は6圏域とも7月中に実施予定です。第3回勉強会は8月中に実施予定となっております。詳しい内容・予定等は、福祉政策課または担当コーディネーターまでお問合せください。



### 第2回勉強会予定

東部第一地区	7/31(火)	10:00~
東部第二地区	7/30(月)	10:00~
西部地区	7/23(月)	9:30~
南部地区	7/11(水)	14:00~
北部第一地区	7/3(火)	10:00~
北部第二地区	7/20(金)	14:00~

### 第3回勉強会予定 (7/1 時点)

東部第一地区	未定
東部第二地区	8/23(木) 10:00~
西部地区	8/27(月) 9:30~
南部地区	8/22(水) 14:00~
北部第一地区	8/3(金) 10:00~
北部第二地区	未定

問合せ

新座市役所 本庁舎2階 福祉政策課 生活支援コーディネーター

TEL:048-424-4693 FAX:048-482-5221